

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年10月18日

計画の名称	備後圏域連携中枢都市圏における広域的な産業物流活性化計画												
計画の期間	平成29年度 ~ 令和03年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	広島県												
計画の目標	<p>備後圏域連携中枢都市圏は、中国地方全体の経済成長をけん引し、住民が安心して豊かな暮らしを営むことを目的に平成27年に連携協定を締結し、福山市を連携中枢都市とした6市2町（広島県三原市・尾道市・福山市・府中市・世羅町・神石高原町・岡山県笠岡市・井原市）から形成される、県境を越えた都市圏である。</p> <p>本都市圏は、空の玄関口である広島空港のほか、重点港湾の福山港や重要港湾の尾道糸崎港等の国際物流拠点を有し、圏域の大部分が備後地区工業特別整備地域にも指定されていたことから、臨海部では鉄鋼や造船など重工業が、内陸部では繊維業や木工業が成長し、瀬戸内海地域における中核的な工業拠点として発展してきた。それに伴い、農業・工業技術系の試験研究機関を始め、大学研究機関など、幅広い分野における産業支援拠点が確立された。また、平成26年度の中国横断自動車道尾道松江線の全線開通により、山陽自動車道や西瀬戸自動車道とつながる高速道路ネットワークが形成されたことや、更に高速道路網を補完する地域高規格道路の整備が、現在、国において進められており、国道2号玉島・笠岡道路及び笠岡バイパスが完成すれば、笠岡東IC（仮称）や笠岡西IC（仮称）の利用により、この地域の経済をけん引する産業拠点へのアクセスが大幅に改善されることから、圏域の経済活動は、今後も更なる発展が期待される。（以下、備考欄）</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	7,115	A	7,115	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H25	H31末	H33末
1	<p>【広島県・岡山県 共通目標】備後圏域連携中枢都市圏における製造品出荷額を32,600億円以上とする。</p> <p>【広島県・岡山県 共通目標】 計画最終年次の備後圏域連携中枢都市圏における製造品出荷額を基準値より増加させる。</p> 工業統計調査ベース	32600億円	32600億円	32600億円
2	<p>【広島県 独自目標】備後圏域連携中枢都市圏（広島県内）における製造業従事者数を69,877人以上とする。</p> <p>【広島県 独自目標】 計画最終年次の備後圏域連携中枢都市圏（広島県内）における製造業従事者数を基準値より増加させる。</p> 工業統計調査ベース	69877人	69877人	69877人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
これらの圏域の強みを活かしながら、年間粗鋼生産量が全国第1位を誇る鉄鋼業や欧米市場から高い評価を受けている繊維業等、世界有数の工業製品に関する広域的な事業活動を支援するために、物流結節点と産業集積地及び産業集積地相互のアクセス性を高める基盤整備を推進し、物流の効率化を図り、国際競争力を向上させる。・H29まで重点事業で実施														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	広島県	直接	広島県	国道	改築	(国)185号 能地B P工区	バイパス L=0.7km	三原市						600	-	
	A11-002	道路	一般	広島県	直接	広島県	国道	改築	(国)317号 青影B P工区	バイパス L=1.1km	尾道市							3,282	-
	A11-003	道路	一般	広島県	直接	広島県	国道	改築	(国)486号 貝ヶ原 工区	バイパス L=1.3km	尾道市							533	-
	A11-004	道路	一般	広島県	直接	広島県	都道府 県道	改築	(主)東広島本郷忠海線 下北方工区	バイパス L=0.2km	三原市							160	-
	A11-005	道路	一般	広島県	直接	広島県	都道府 県道	改築	(主)芳井油木線 上豊 松工区	バイパス L=1.2km	神石高原町							735	-
	A11-006	道路	一般	広島県	直接	広島県	都道府 県道	改築	(主)吉舎油木線 長者 原工区	現道拡幅 L=0.8km	神石高原町							700	-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-007	道路	一般	広島県	直接	広島県	都道府 県道	改築	(一)尾道新市線 梶山 田工区	バイパス L=1.8km	尾道市						900	-	
	A11-008	道路	一般	広島県	直接	広島県	国道	修繕	(国)182号 明神町 工区	舗装修繕 L=0.4km	福山市							20	-
	A11-009	道路	一般	広島県	直接	広島県	国道	修繕	(国)182号 坂瀬川 工区	舗装修繕 L=0.4km	神石高原町							25	-
	A11-010	道路	一般	広島県	直接	広島県	国道	修繕	(国)182号 下伊関 工区	舗装修繕 L=0.4km	神石高原町							15	-
	A11-011	道路	一般	広島県	直接	広島県	都道府 県道	修繕	(主)府中松永線 小原 工区	舗装修繕 L=0.2km	尾道市							34	-
	A11-012	道路	一般	広島県	直接	広島県	都道府 県道	修繕	(主)吉舎油木線 上工 区	舗装修繕 L=0.5km	神石高原町							15	-

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-013	道路	一般	広島県	直接	広島県	都道府 県道	修繕	(一)福山港線 手城工 区	舗装修繕 L=0.6km	福山市						40	-	
	A11-014	道路	一般	広島県	直接	広島県	都道府 県道	修繕	(一)尾道新市線 木之 庄工区	舗装修繕 L=0.8km	尾道市							41	-
	A11-015	道路	一般	広島県	直接	広島県	都道府 県道	修繕	(一)布賀油木線 上豊 松工区	舗装修繕 L=0.5km	神石高原町							15	-
												小計						7,115	
												合計						7,115	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
整備計画構成自治体・団体 (広島県、岡山県) 広島県土木建築局道路整備課で最終評価を実施	令和6年10月
	公表の方法
	広島県ホームページ

事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>A011-002、004、008～015の道路整備により物流結節点と産業集積地の物流効率化が図られ、備後圏域連携中枢都市圏における製造品出荷額が(H25)32,600億円から(R5)37,853億円へ5,253億円増加するとともに、備後圏域連携中枢都市圏(広島県内)における製造業従業者数(H25)69,877人から(R5)71,182人(1,305人)へ増加するなど、産業活動の競争力の向上が図られたと考えられる。</p> <p>【本事業完成で発現される効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A11-002 (国) 317号 青影B P工区のバイパス整備により、土生・三庄地区産業集積地から因島北IC(瀬戸内しまなみ海道)へのアクセス性の向上が図られたと考えられる。 ・A11-004 (主) 東広島本郷忠海線 下北方工区のバイパス整備により、三原西部工業団地から河内IC・本郷IC(山陽自動車道)へのアクセス性の向上が図られたと考えられる。 ・A11-008 (国) 182号 明神工区の舗装修繕により、福山港工業団地群から福山東IC(山陽自動車道)への走行性が向上し、円滑な道路交通が確保できたと考えられる。 ・A11-009 (国) 182号 坂瀬川工区の舗装修繕により、三和地区産業集積地から福山東IC(山陽自動車道)への走行性が向上し、円滑な道路交通が確保できたと考えられる。 ・A11-010 (国) 182号 下井関工区の舗装修繕により、三和地区産業集積地から福山東IC(山陽自動車道)への走行性が向上し、円滑な道路交通が確保できたと考えられる。 ・A11-011 (主) 府中松永線 小原工区の舗装修繕により、新市工業団地から尾道IC(山陽自動車道)への走行性の走行性が向上し、円滑な道路交通が確保できたと考えられる。 ・A11-012 (主) 吉舎油木線 上工区の舗装修繕により、三和地区産業集積地から東城IC(中国自動車道)への走行性が向上し、円滑な道路交通が確保できたと考えられる。 ・A11-013 (一) 福山港線 手城工区の舗装修繕により、福山港工業団地群から福山東IC(山陽自動車道)への走行性が向上し、円滑な道路交通が確保できたと考えられる。 ・A11-014 (一) 尾道新市線 木ノ庄工区の舗装修繕により、新市工業団地から尾道IC(山陽自動車道)への走行性が向上し、円滑な道路交通が確保できたと考えられる。 ・A11-015 (一) 布賀油木線 上豊松工区の舗装修繕により、豊松地区産業集積地から東城IC(中国自動車道)への走行性が向上し、円滑な道路交通が確保できたと考えられる。
--------------------------------------	---

<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)</p>	<p>道路整備の実施により、すれ違い困難な箇所等が解消されたことで、安全性及び走行性が確保され、物流効率化に寄与した。</p>
--	---

特記事項(今後の方針等)

<p>未完了の事業については、本計画完了後も引き続き、社会資本整備総合交付金等を活用し、計画的に事業を推進する。 (未完了事業) A11-001、003、005、006、007</p>
--

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）	目標値と実績値に差が出た要因	
1	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
	備後圏域連携中枢都市圏における広島県・岡山県の製造出荷額		
	最終目標値	32600億円	本計画の進捗により、備後広域連携中枢都市圏における製造品出荷額が(H25)32,600億円から(R5)37,853億円(5,253億円(16%))へ増加し、最終目標値を達成した。 出典:2023年経済構造実態調査 製造業事業所調査(地域別統計表データ)
最終実績値	37853億円		
2	広島県における製造業従事者数		
	最終目標値	69877人	本計画の進捗により、備後広域連携中枢都市圏における製造業従業員数が(H25)69,877人から(R5)71,182人(1,305人(1.86%))へ増加し、最終目標値を達成した。 出典:2023年経済構造実態調査 製造業事業所調査(地域別統計表データ)
	最終実績値	71182人	